

第2学年 道徳科(人権)学習指導案

1 主題 だれとでもなかよく

2 主題設定の理由(省略)

3 ねらい

相手の気持ちを考えて、みんなと仲よく生活していこうとする態度を育てる。

4 指導計画

【 】普遍的な学習のテーマ

[]個人人権課題

主題に関わる日々の活動

読み聞かせ

読み聞かせを通して想像力を高め、感性を豊かにする。様々な物語に触れることで、温かな人間関係の構築につなげる。

あったかツリー活動

「ありがとう」「がんばったね」「心がほっかほか」について掲示し、友達のいいところを紹介し、互いのがんばりやよさを認められるようにする。

あったかみつけ大作戦

学級をよりよくするために自分ができることを見つけて、行動できるようにする。

1分間スピーチ

朝の会で、1分間スピーチの場を設定し、一人一人が考えや思い、願いを語ることで、互いのよさに気づき、認め合うことができるようにする。

主題に関わる人権教育

これまでの学習

○学級活動

「外国の方と交流しよう」

【外国人】2時間

○道徳科

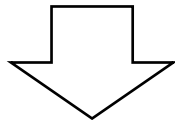
「せかいのくにの人たちと」

(東京書籍)

【仲間づくり】【外国人】1時間

「かみひこうき」(ひかり)

【仲間づくり】【女性】1時間



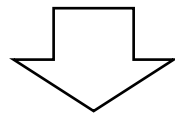
現在の学習

○道徳科

「三びきは友だち」

(日本文教出版)

【仲間づくり】2時間(本時 2/2)



これからの学習

○道徳科

「雨ふり」(光村図書)

【仲間づくり】1時間

主題と教科等との関連

○国語科

「みんなで話し合おう」

「ありがとうをつたえよう」

【仲間づくり】

○学級活動

「誕生日会」

「いいところ見つけ」

【相互理解】

○生活科

「保育所さんと1年生、おもちゃランドへようこそ」

【思いやり】

○体育科

「みんなと心をつなぐ運動会にしよう」

【仲間づくり】

○図画工作科

「どんどんかわるよ 新聞紙」

【仲間づくり】

5 本時の学習

- (1) 目標 ぴよんたの気持ちを考えることを通して、自分の好き嫌いにとらわれずに相手の気持ちを考えて接していこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C-(11) 公正、公平、社会正義
-------------	-------------------

- (2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり

(3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 友達にされたらうれしいことやうれしくないことを書き出す。	○ 自分の好き嫌いから連想する言葉をホワイトボードに書き、イメージをもたせる。
2 教材を読み、本時の学習課題を知る。	○ 本時の学習の方向付けをする。(ペープサート)
「ぴよんた」が気付いたことは、何だろう。	
3 ぴよんたの気持ちを考える。 ・「友だちだよ」と言った時 ・「言わないからね、友だちだもの」と言った時 ・後ろすがたをじっと見つめている時 ・二人のところに走って行った時	○ ぴよんたの気持ちを考えることで、公平に接することの大切さに気付かせる。② ○ 役割演技を通して、人によって態度を変えることが間違いであったことに気づき、どうすればよかったのかを考えることができる。
4 学習を振り返り、本時のまとめをする。	○ これからの生活で自分にできることを考え、誰とでもなかよく公平に接していこうとする意欲を高める。①

(4) 評価

- 自分の好き嫌いで判断することの間違いに気づき、相手の気持ちを考えて接していこうとする意欲を高めることはできたか。【価値的・態度的側面】①
- 友達の考えをよく聞き、自分が感じたことや考えたことを伝えることができたか。【技能的側面】②